

統計

◎一九一七—一八年度印度貿易の一斑

(通商公報第六三五號拔萃)

輸入

一九一七—一八年度輸入總額十五億ルビー餘にして前年度より七百九十一萬ルビーを増加したること左表最近五年度の輸入額統計に示す如しと雖、増加の主なるものは綿製品、燐寸、化學藥品、郵便に依る輸入にして、自動車、自働自轉車及鐵道用具並車輛、石油等は却て減退せり。

一九一三—一四年度	一、八三二、五
一九一四—一五年度	一、三七九、三
一九一五—一六年度	一、三一九、九
一九一六—一七年度	一、四九六、三
一九一七—一八年度	一、五〇四、二

今主要鑛産物及其の製品に關する輸入額を表示すれば左の如し。(單位千ルビー)

(單位百萬ルビー)

品目	自一九〇九—一〇年度 至一九一三—一四年度 (五年平均額)	一九一六—一七年度	一九一七—一八年度
鐵及鋼	一一一、七四五	八八、八〇六	七七、五八〇
各種機械(調帶を含む)	五八、〇〇四	六〇、一四二	五二、三五〇
鑛油	三七、二〇三	四四、三九三	三六、四〇七
鐵器	三一、七〇四	三一、〇八七	二七、一五五
自動車及自動自轉車	一〇、〇六四	二一、四四一	七、二一六
統計			

鐵道用具及車輛 六一、〇九四 一五、六八六 四、九六三

鐵及鋼の本年度輸入は著しく減退し總額十五萬二千噸にして、前年度より四割一分減なり、之を戰前の五年平均に比すれば正に七割九分減を示せり。即ち一九一七—一八年度の輸入總金額は七千七百六十萬ルビーにして、前年度に比し數量は著しく減したるに拘らず、價額は僅に一割二分の減少に過ぎざるなり。今最近五年の輸入數量及戰前五年平均數量に就き各國別とするときは左の如し。(單位百噸)

年 度	英本國	獨逸	自耳義	北米合衆國	其他	合計
一九〇九—一〇年度乃至一九一三—一四年度平均	四四四	一、三六四	一、二六六	二、四五五	一、四三三	七、三五三
一九一三—一四年度戰前	六、二二三	二、〇〇一	一、七二〇	三、〇〇〇	一、三六六	一〇、一八二
一九一四—一五年度	四、三三五	七、七三	六、七三	三、〇〇〇	一、二五	六、〇八六
一九一五—一六年度	三、八九四	四、四	七、〇	一、四四〇	九、〇	四、四四六
一九一六—一七年度	一、七六七	六	三	七、七	八、九	三、五七三
一九一七—一八年度	六、六	—	—	六、七	一、三五	一、五三〇

前記一九一七—一八年度に於ける輸入總額中、其の主要なるもの、種類を示すときは次の如し。

品 目(噸)	一九一七—一八年度	一九一六—一七年度	戰前五年平均	摘 要
梁、枕、桁等の構造材料	一、〇〇〇	—	七、一〇〇	大に減少せり。
箍、條鐵	三、〇〇〇	—	三、六〇〇	英本國第一位を占め、北米合衆國之に亞く。
釘、鋸及座鐵	一〇、〇〇〇	—	—	前年度に比すれば約二分の一に當り、戰前より五割九分減少。
鑄管、フィチングス	七、〇〇〇	一四、六〇〇	四、七五〇	英本國より六千四百噸を輸入せり。
ロード、チューブ	一四、三〇〇	—	—	英本國四割四分、北米合衆國は五分四分を占む。

鐵と鋼 第五年 第八號

波形鐵板	五、五〇〇	—	—	英本國より千三百噸、北米合衆國より四千二百噸輸入。
鐵葉板	三、〇〇〇	—	—	前年度に比し二割七分増、戦前より五分増にして、二萬二千噸は英本國より、九千噸は米國之を輸入す。
厚板	二、五〇〇	—	二、〇〇〇	主として北米合衆國より輸入。
針金	七、〇〇〇	—	六、七〇〇	北米合衆國其の主位を占め、五千四百噸を輸入せり。
形鋼、發條鋼	三、九〇〇	—	三、一〇〇	五分の三は英本國より輸入。
パース、チャンネル鋼	一七、四〇〇	—	一〇、四〇〇	英本國の輸入は戦前の約二分の一即ち一萬五千噸、合衆國は戦前僅に四百噸より五千三百噸に一躍せり。

機械類の輸入總額五千二百三十萬ルビにして、昨年度に比し一割三分を減し、其の内主要の位置を占むる裝綿機械の輸入額千七百七十萬ルビ中、英本國は千二十萬ルビ、日本九十萬ルビにして、前年度は夫々千二百萬ルビ、七十萬ルビなりき。又黃麻製造機械は前年度の千八十萬ルビより六百九十萬ルビに減退し、内英本國六百二十萬ルビ、日本約五十萬ルビを占めたり。

鑛油に就き最近二年度の輸入及戦前五年平均額とを比較對照すれば左表の如し。(單位千ガロン)

種別	一九〇九—一九一〇年一三年度乃至一九一三—一四年度五年平均	一九一六—一七年度	一九一七—一八年度
燃料油	八、一三〇	一九、六七〇	一五、三〇九
石油	五〇、八六〇	四四、二六〇	二六、四七七
石炭	一六、〇四九	四、八四七	四、九〇七
同鐵入	六六、九〇九	四九、一〇七	三一、三八四
計			

機械油	一三、五二二	一八、六八三	一五、三七五
ベンジン、ペンツール、ペテロール	一三一	一五	三六六
塗料(ソリウシジョン及コンボジション)	二	二	—
其他	七一	六七八	三六三
合計	九〇、九六五	八八、一五五	六二、七九七

鐵管類 一九一七—一八年度貿易中最も著しき現象は、獨、塊の撤退せし市場を著々日、米の獲得せし事實にして輸入總額二千七百二十一萬ルビ、前年度に比し一割三分減なりしも、英本國は四割一分(前年度五割九分)を占め、合衆國二割八割(前年度一割九分)、日本二割五分(前年度一割六分)にして、就中瑠璃鐵黒の九百九十萬ルビ中日本は其の八割を占め、且金屬製洋燈百十四萬四千ルビ中、二割六分は日本の輸入に係るなり。

輸出品の重要なもの及其の價額を示せば左の如し。

品目	一九二〇年乃至一九一四年五年平均額	一九一六—一七年度	一九一七—一八年度
滿 俺 鐵	九、八六四	一三、五四二	八、五六七
ウオルフラム	—	一〇、五〇五	一〇、八六六
其他の金屬	七、〇四〇	一四、一三七	九、九九五
硝 石	三、四九九	一〇、五五五	八、八七四
雲 母	三、五八七	五、一一九	八、六二九
石炭、コークス	七、五七七	七、六二二	二、三九〇

印度の鑛産物輸出額中其の九割五分は滿俺鐵にして、前年度に比し輸出は三分の一減を呈し、總額四十二萬三千三百噸、其の約七割二分は英本國に、其餘は佛蘭西、北

米合衆國、日本及伊太利へ輸出せられたり。ウオルフラム鑛の殆ど全部は緬甸より輸出に係り、其の額四千七百八十二噸中僅に三十八噸とペンゴール州より輸出せしのみ、而も英本國に其の全部を輸出せり。クローム鑛の輸出は前年度六千噸、戦前平均三千五百噸なりしに、本年度に到り著しく増加し約一萬五千噸を輸出せり。而して英本國其の八割二分を占め、其餘は日本以太利に輸出せらる。又銑鐵の輸出は前年度の約二分の一にして總額四萬九千八百噸、日本第一位を占め總額の五分の四を輸出せられ、殘餘を濠州新西蘭及香港に對し輸出したり。現今印度製鐵會社はタタ製鋼、ベンゴール製鋼所の二箇所を經營し、其の産額戦前三十萬五千噸、前年度六十三萬噸なりしに、本年は七十三萬千噸に達せり。而して之を大別すれば銑二十五萬千噸、鋼十七萬四千噸、大鋼塊及錠十四萬九千噸なりとす。

◎米國に於ける金及銀生産額 (一九一七年)

州 別	金		銀	
	數量(オンス)	價額(弗)	數量(オンス)	價額(弗)
アラバマ	10K	21100	—	—
アラスカ	40,772	1,467,100	1,107,164	9,411,100
アリゾナ	25,063	518,000	6,963,257	5,733,400
カリフォルニア	1,011,421	10,929,400	11,071,017	11,733,100
コロラド	77,766	1,597,400	7,321,495	6,000,500
ジョージア	39	650	—	—
アイダホ	36,511	749,800	11,001,431	9,361,000
イリノイス	—	—	7,161	5,600

統計

メリーランド	—	—	—	5,600
ミシガン	—	—	—	5,600,000
ミズーリ	—	—	—	5,300
モンタナ	17,690	367,300	1,459,000	1,196,100
ネヴァダ	35,311	693,500	1,127,650	9,377,000
ニューメキシコ	53,505	1,084,400	1,558,070	1,260,700
ノースカロリナ	50	10,200	50	500
オレゴン	81,604	1,667,300	1,731,511	1,412,000
比 律 賓	69,955	1,406,100	1,275	10,550
ポートルリコ	5	100	—	—
サウスカロリナ	83	1,700	—	—
サウスダコタ	35,663	737,200	1,908,311	1,568,000
テンネッシー	267	5,500	106,975	881,000
テキサス	—	100	57,945	484,100
ユタ	17,063	352,100	1,330,905	1,100,300
ヴァモント	5	100	40	300
ヴァージニア	63	1,300	4,200	3,700
ワシントン	33,670	488,200	2,662,111	2,900,000
ワイオミング	17	3,700	3,400	2,800
合 計	4,514,000	83,750,700	77,741,311	59,078,100

前表の數字は北米合衆國造幣局及同地質測量局の調査報告を綜合し得たるものなり。

米國金及銀の生産額八年比較表

年 次	金		銀	
	數量(オンス)	價額(弗)	數量(オンス)	價額(弗)
一九一〇年	4,650,101	96,269,100	57,137,600	3,025,400
一九一一年	4,670,000	96,890,000	60,069,400	3,361,500
一九一二年	4,507,077	93,451,500	63,766,800	3,919,750
一九一三年	4,297,783	88,884,000	66,810,500	4,048,100
一九一四年	4,577,277	94,532,800	71,439,100	4,006,700

九七一

英吉利	一三六、三〇〇	一三六、三〇〇	一二三、七六九	二二八、四三三	一三五、四五六	九六、四五〇	八六、五〇〇
希臘	八八一、五七九	八〇三、七五〇	八〇三、七五〇	八〇三、四三三	五九一、四六四	五九一、四六四	三五〇、〇〇〇
伊太利	四六八、五五六	九九八、五七六	四四七、七六一	四三三、八八八	五二〇、三六五	四九三、八五六	四四〇、〇〇〇
諸威	三三九、九九九	三九二、〇六五	二四七、九八八	二四七、九八八	四四〇、九一七	四一三、八六七	四三九、二〇〇
西班牙及葡萄牙	四、四六四、四三〇	四、二七〇、八三四	五、三五八、四四八	四、四三七、六七七	四、四三四、四一七	四、五六七、四五四	四、五七〇、〇〇〇
露西亞	一四〇、六三三	四七、七一〇	三〇〇、〇九四	—	—	六三八、四〇三	三〇〇、〇〇〇
塞爾比	—	二四、二三三	二四、二三三	二八、七五六	一一〇、一四	—	一〇、〇〇〇
瑞典	一九八、三三三	一九八、三三三	三三、三〇三	五八、九六九	三三、五一一	三四、三三〇	三七、〇〇〇
土耳其	一七二、七八六	一七二、七八六	一、五〇九、一三三	一、五〇九、一三三	一、五〇九、一三三	一、五〇九、一三三	三〇〇、〇〇〇
英領印度	二、五四五、八二八	一、六五七、八四三	一、四七三、七九四	一、八二八、五七七	三、七三三、〇七七	四、一九五、八七五	四、〇三三、一〇〇
支那	四四、七七三	一〇四、三三三	九三、六四九	—	三三六、四四〇	二八四、八七五	六八、〇〇〇
朝鮮	一六四、八四四	九四、四四六	—	—	—	一八、三三〇	三〇〇、〇〇〇
蘭領東印度	四六五、九八〇	四六五、九八〇	四六五、九八〇	四六五、九八〇	—	—	—
印度支那	—	—	—	—	一、七六七	一、〇五六	一、〇〇〇
臺灣	—	—	—	五二、七六三	—	—	—
日本	四、五八一、六二三	四、四九〇、〇八七	四、九三三、八五三	四、六四九、九二〇	四、八六三、三三八	五、二〇二、九三三	五、八四五、七〇〇
白領コンゴ	—	—	—	一、四五四	—	—	—
埃及	—	—	—	—	一、三三三	一、六七七	一、〇〇〇
佛領東阿弗利加	—	—	—	—	—	—	—
マダガスカル	—	—	—	—	—	—	—
ロデシア	—	—	—	—	—	—	—
トランスヴァール	—	—	—	—	—	—	—
プロコニーナ	—	—	—	—	—	—	—
葡領東阿弗利加	—	—	—	—	—	—	—
合計	三三、七二五、六七三	三六、一九三、九三三	三三、四三三、〇六四	三五、四二〇、〇八五	一六〇、六六六、〇一九	一七六、八五〇、五〇〇	一六、一七三、七三〇

開戦以來交戦各國は莫大の公債を發行したる爲、自然其の國家的信用を維持する必要上金銀の生産増加を熱望することとなりたるも、事實は之に反し之か影響に因り勞働の減少、輸送の不便、採掘費の暴騰により、或鑛山は採掘量を減し、或は事業閉鎖の止なきに到るものありて、爲に如斯く生産量に減少を招きたるなり。

◎印度産滿俺鑛の輸出

一九一八年四月より一九一九年三月に至る一年間の印度

産滿俺鑛の輸出高は三十八萬五千三百六十一噸價額七百五十二萬二千九百九十六ルピーにして、之を前年度の四十三

萬三千三百三十一噸價格八百五十六萬六千八百七ルビーに比すれば、數量に於て四萬七千八百七十噸、價額に於て百四萬三千八百十一ルビーの減少を呈せり。

又其の輸出先を見るに、佛國は前年度に比し八千三百四十五噸を増して五萬七千四百噸となり、白耳義は前年度輸出皆無なりしに、本年に於ては六千五百六十噸の輸出ありたり。然るに右兩國を除き最大輸出先たる英國を始め北米合衆國、伊太利及日本に對する輸出量は何れも著しく減少せり。

滿俺鑛輸出額國別二年比較表

國別	一九一七—一八年度		一九一八—一九年度	
	數量(噸)	價格(ルビー)	數量(噸)	價格(ルビー)
英國	三三、四六六	五七、七七八	三三、三三〇	五八、九二四
白耳義	—	—	六、五八〇	一〇八、三四〇
佛國	四八、〇五五	一、〇二、五五〇	五七、四〇〇	九七、八四〇
伊太利	一〇、三〇〇	一、九七、三九四	一、七五五	三、九三九
日本	一七、五五七	四八、三四六	一四、九九六	四二、七五〇
計	四三、三三一	八、五、六八七	六五、三六二	七五三、九六六

◎不列顛國に於ける電氣製鋼爐の數

(一九一八年末調)

型式	爐の數	全容量(噸)	全キロヴォルトト・アンペア	公稱月製量
Electro-metals	二七	七三	二〇、二七四	六、七四〇
Greaves-Etchells	二六	六四・五	一八、八三〇	五、六八〇
Héroult	四五	一八〇・五	四三、二二〇	一三、七〇〇
Remerfeldt	四	七	一、八九五	七五〇

統計

型式	爐の數	全容量(噸)	全キロヴォルトト・アンペア	公稱月製量	實量
Snyder	六	九・五	—	三、一五〇	一、二〇〇
Special	二	二	—	七五〇	二八〇
Stassano	二	二	—	六〇〇	二四〇
Stobie	五	四五・五	一〇、〇五〇	二、六〇〇	—
計	一七	三八四	九八、七六九	三、二五〇	—

鑄鋼用電氣爐(既設)

月製量

型式	爐の數	全容量(噸)	全キロヴォルトト・アンペア	公稱月製量	實量
Electro-metals	一五	二五・五	八、一三〇	二、九〇〇	—
Greaves-Etchells	四	七	二、〇五〇	七〇〇	—
Héroult	七	一六	四、一五〇	一、五六〇	—
Remerfeldt	二	五・五	一、一〇〇	四四〇	—
Snyder	六	九・五	三、一五〇	一、二〇〇	—
Special	二	二	七五〇	二八〇	—
Stassano	二	二	六〇〇	二四〇	—
Stobie	一	五	八〇〇	四〇〇	—
計	三七	七二・五	二〇、七三九	七、七二〇	五、〇一九

備考 前表以外目下設備中のものには、鑄造用電氣爐一基其の全噸數四四噸、所要電力は一二、二〇〇キロヴォルト、アンペア公稱月製量三、二二〇噸其の實量二、〇二八噸あり。又鋼塊製造用電氣爐五六基其の全噸數二二七噸ありといふ。

◎世界に於ける鐵及鋼の産額

不列顛に於ける製鐵鋼業聯合協會は、鐵及鋼の世界産額に關し過去數年に調査せる統計的記録を發表せしか以下に比較の爲從來公にせられさりし前年の分をも示さんとす。

銑鐵生産高

國名	一九一八年	一九一七年	一九一六年
英國(英噸)	九、〇六、〇〇〇	九、四三、〇〇〇	九、四八、〇〇〇
北米合衆國(米噸)	五、〇三、〇〇〇	三、六三、〇〇〇	三、四三、〇〇〇

九七五

獨逸(佛噸)	11,250,000	13,140,000	13,215,000
佛國(佛噸)	11,250,000	12,640,000	11,970,000
計	22,500,000	25,780,000	25,185,000

鋼生産高

英國	9,520,000	9,600,000	9,120,000
北米合衆國	14,070,000	14,060,000	14,370,000
獨逸	14,640,000	16,570,000	16,180,000
佛國	14,220,000	13,310,000	14,510,000
計	42,450,000	43,630,000	40,180,000

一九一八年獨逸の産出高中には、同年十一月及十二月に於けるレツキゼンブルグ、ザール地方及分離せるローレン州の分を含まさるも、英國の鋼産額には鋼鑄造品をも含めり。表中戦時に際し獨佛兩國の産出高大に減せるは注意すへき重要事項なるに反し、米國は著しく激増せり。而して獨り英國のみは銑鐵の産出高に異動なく且鋼産額を少しく増加したり。

一九〇〇年に於ける前記四國の銑鐵製出量は總計三千四百萬噸にして、内英國の産出高は九百萬噸なりしか一九一三年には六千六百萬噸に増加すると共に、英國の産出高も亦増加して千萬噸に達せしと雖、一九一八年には前記より五百萬噸を減し、英國は僅に九百萬噸を産出せしに過ぎず。今一九一六年及一七年に於ける世界二等國の鐵並鋼の産出額を示せば左の如し。

奧太利	銑鐵産出高	一九一七年	1,917,000	一九一六年	2,152,000
	鋼産出高	一九一七年	3,237,000	一九一六年	3,310,000
匈牙利	銑鐵産出高	一九一七年	1,917,000	一九一六年	2,152,000
	鋼産出高	一九一七年	3,237,000	一九一六年	3,310,000

◎聯合國及同盟國海軍損害比較表

艦種	聯合國				同盟國	
	英	佛	伊	日	獨	奧
戰艦	13	4	3	1	1	8
巡洋戰艦	3	1	1	1	1	1
巡洋艦	25	5	2	4	24	2
甲鐵艦	6	1	1	1	1	3
驅逐艦	64	14	10	3	72	5
水雷艇	10	8	5	1	51	4
潜水艦	50	14	8	1	205	8
小型艦	27	9	1	1	1	1
總噸數	55,000	110,000	75,000	50,000	17,000	65,000
合計	203,000	203,000	203,000	203,000	203,000	203,000

◎戦時聯合國商船損害に就き英獨報告噸數相違

英國船船 英國を除きたる 聯合國の船船 合計

英國公報	一九一八年九月迄	八、九四七、八七六	五、九二八、三七六	一四、八七六、二五二
獨國公報	一九一八年八月迄	一一、九二〇、〇〇〇	七、三〇〇、〇〇〇	一九、三二〇、〇〇〇

備考 獨逸公報は一九一八年八月迄を發表し其の分は合設四十四萬噸にして假りに英國二十三萬噸其他を十二萬噸と推定せり。

●輸出入貨物品別表(大藏省發行の大正八年五月外國貿易月)
 第一輸出貨物品別表
 (表中鐵及鋼に關するもの左表の如し)

内國産品	大正八年五月		大正八年一月以降累計		大正七年一月以降累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
石炭(噸)	一四八、九二七	二、六九七、九四二	七三五、〇二五	一三、三七八、〇五四	一、〇三三、五一四	一三、六四九、四三四
コークス(噸)	—	—	七三三	三八、七三九	一、八七五	一三七、五〇三
鐵塊及錠(斤)	四、二九九〇四	三六九、四七七	八、七三三、三七八	一、〇八七、五八五	四、四六二、四三七	九九七、九二八
鐵條及板(斤)	五、七一九三三	一、〇〇六、六〇六	二、一〇四八、一四四	四、三三二、二九九	九、〇三六、七五三	三、一五二、七四三
線索(斤)	一、三六一三四	七四、九四八	一、〇一五、三六三	六九〇、四七三	三、一〇五、五五二	一、九三三、一〇六
筒及管(斤)	一、七六八六一	三三、八七〇	四、一八九、七五七	一、一四九、八一三	二、五二八、一五五	九三三、六四一
鐵鍋及鐵釜	—	—	—	一八三、二〇四	—	一三六、二九五
鐵製品	四三、五二四	七四、三三三	一、二〇四、二八六	一〇、二〇四、四〇四	九三、九六八	八、五八五、五二七
人力車(輛)	三三七	一六、七三二	二、六七六	一六〇、五四二	二、〇九六	七四、二二六
船舶(汽船)	—	—	三	六、七五〇	二〇	五、六八一、八六六
機械同部分品及附屬品	—	—	—	六、三二九、七九五	—	四、三七八、三三六

第二輸入貨物品別表

外國産品	大正八年五月		大正八年一月以降累計		大正七年一月以降累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
石炭(噸)	四、五、五九九	一、二四一、九六五	二九九、八六六	八、二八八、〇四五	三四七、九四一	五、八四六、二九

外國産品	大正八年五月		大正八年一月以降累計		大正七年一月以降累計	
	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)	數量	價額(圓)
鐵	四五二	四二,九七九	一七,一九六	七七四,八七九	二七,〇〇六	九〇六,二四一
鐵(鑛)	九一,九二一	一,三五,六〇三	三,二四六,五九九	五〇四六,五四三	一,五七三,一四五	一,九三九,三五五
銑	二四,五三三,六五九	二,八八八,四四八	一三〇,二〇四,六三六	一五,九二一,七四一	一〇四,六三三,九九一	一四,四三九,六五四
スビーゲルアイゼン(斤)	—	—	—	—	—	—
フエロマンガニース(斤)	二〇	七	四,一九八,八〇一	九六〇,四四〇	七三七,九四一	二四三,七七五
フエロシリコン及シリ(斤)	二六二,二二四	一三〇,五四八	四九一,五七三	二〇九,五四七	五四一,五五九	一三九,八三三
フエロクロム其(斤)	三,八四一	三,三六七	三六三,一一六	二二三,二一四	六三,六六八	四九,五一九
他不可鍛性鐵合金(斤)	—	—	—	—	—	—
インゴット及スラップ(斤)	五,七四六,一三六	一,〇六七,五八四	九,〇九七,八九九	一,九四八,五八三	六,二九,八一九	一,九八五,六一九
ケツグ及パンブースチル(斤)	—	—	二,四一五	四,六二九	—	—
條竿、テール、アングル形鐵類(斤)	一九,九三三,三七二	三,九九七,八五七	九四,七八六,三二九	一八,八三七,四三六	二四一,六六一,九一八	四五,五四七,九四一
ワイヤロッド(斤)	九,二三四,四四四	一,八五〇,六六八	三〇,三八六,一八九	五,七四一,〇七三	一九,八一,六三三	三,〇八五,〇〇四
板 (金屬を鍍せざる)(斤)	二五,四四八,一三三	四,八七九,一一〇	一〇四,一四六,一八六	二三,四四〇,八七九	一一,八六九,二二三	三六,九四四,〇一六
板 (電鍍したる)(斤)	三三七,五九一	九三,六三八	一,七九四,一六三	四六七,七〇三	一,七三九,一三四	四八七,四六五
板 (葉鐵及葉鋼其他)(斤)	五,三六六,九四四	一,九七三,〇五九	一五,七五六,五六三	五,四四六,一四七	一六,三五六,七八六	七,〇四二,〇九五
線 (金屬を鍍せざる)(斤)	三七七,八六八	八〇,〇〇三	二,四三六,〇八一	六四五,八一三	三,五三三,九一六	七,一五二,六七七
線 (電鍍したる)(斤)	二,四六二,〇二九	五八〇,一七八	一三,〇八五,〇五〇	三,〇四〇,三九八	一三,六八四,九四一	二,八四二,〇五〇
帶 及 箍(斤)	八三九,九八一	一九七,九六九	三,三〇九,一八六	八七四,五四〇	三,五九〇,六二八	九二六,〇三一

線索及燃合線(斤)	二一、八〇五	一〇、五四六	五四、六九九	三四、四九九	五八、七九六	二二、九一〇
筒及管(斤)	六、六九四、三八五	一、七七四、五六〇	一四、七七四、二七四	四、一三三、五〇九	二四、七九六、一三八	五、九三四、六三八
屑鐵及故鐵(斤)	三、〇〇一、四二七	二〇二、一二七	三二、八九四、六二九	二、八三〇、二六一	六四、二八五、七七三	五、三三四、七九〇
釘類(斤)	二、一八〇、四七〇	七五六、〇九三	一〇、五二三、六三五	三、三五六、四四三	一五、二七一、八一九	三、八一、八六〇
鐵道建設用材料(レール其他)	一三、二九九、三三三	一、七三三、三三〇	三一、一七二、五九二	四、九六二、〇六四	五九、七二四、四五七	七、八二三、四八六
電線支柱及同支架用材料	一、五一九	一、六一八	二、三三三	二、三三三	二、九二九	二、九七五
家屋橋梁船舶等建設材料	一九七、三九八	四四、五六五	六〇四、八一七	一五五、六一三	三、一四八、一八七	七二〇、八九〇
鐵道車輛及同部分品	一八三	一、一三三、五七三	一、一三三、五七三	一、七五一、五九九	九〇九、二五七	
自動車及同部分品	二二二	六八、六一二	五三五	一九七、一九七	五九七	一一七、六一七
自轉車	一	二五、〇〇〇	四	八九、〇〇〇	四	一三、一六〇
汽船(船齡十年以下)(隻)	一	四〇、〇〇〇	五	一八六、〇七五	九	二、五二八、三五五
同(其他)(隻)	一	一、一五〇、七九六	四	三、六八九、三五八	九	二、〇七五、一二四
汽罐同部分品及附屬品	八〇、五八八	一三、八二七	八四、四三三	一四、七三〇	五四一、七四七	八六、二一七
フューエルエコノマイザー(斤)	四〇、〇二七	三四、九三六	九〇〇、七八六	三四五、二七〇	二二六、四七一	一四三、七二〇
蒸氣機關	三五、九五三	二四九、六〇三	一六四、四六七	五四八、六八二	一一〇、二九七	一八三、四六四
瓦斯、石油、熱氣機關	五、六三、六九一	五一〇、三二七	一〇、五五、四九三	一〇、二五、五七三		
ウオータータービン及ベルトン水車	三九一、一七九	四七七、〇五五	一、六一四、六三五	一、八五四、五六二	一、〇五九、五五六	九〇八、五二一
發電機電動機類	二六七、七三四	二九五、一五〇	一、一一一、七三三	一、三五四、二六	一、二〇五、〇九七	一、二二九、八七一
縫衣機	一、四九四、五七九	一、四七一、二三三	四、二三六、一五三	四、四一九、二一九	三、五四八、五八三	二、三六六、五二〇
金屬工及木工機械	二、六五八、三八四	一、五七一、九九九	七、七五一、一五〇	四、三一〇、七三四	五、四三〇、一八五	二、一〇五、三九七
紡績機						

●大正八年五月中本邦鐵及重要金屬並石炭產額表（農商務省鑛山局調）

重要金屬の產出狀況

重要金屬の名

大正八年 四月

大正七年 四月

金 一二六、九九三匁

二一九、〇〇八匁

銀 三、二八〇、九七二匁

四、四九一、七一八匁

銅 一〇、四三二、五〇五斤

一一、七八四、九〇二斤

鐵の產出狀況

鑛山名 所在地

大正八年五月

大正七年五月

釜石 岩手 銑 四、一八二、〇匁

四、〇二〇、〇匁

仙 人 同 (銑) 一、〇六二、九

一、三七五、九

栗 木 同 (銑) 七〇、三

二七二、一

石炭の產出狀況

鑛山名 所在地

大正八年 五月

大正七年 五月

夕張 石狩 八七、〇五〇佛噸

一〇二、二一七佛噸

眞谷地 同 一五、〇〇〇

一五、二三〇

新夕張 同 三二、一六五

二八、三五五

空地 同 二八、〇〇〇

二八、一一〇

幾春別 同 八、三〇〇

六、二二七

幌內 同 一五、〇〇〇

一九、四三〇

奔別 同 二二、八九八

一六、四二〇

三井登川 同 一三、二六四

一〇、一二五

大夕張 同 七、五四四

五、五二五

上歌志内 同 四、〇〇二

五、二三五

三菱美唄 同 四六、六五六

三五、三三二

歌志内	石狩	八、七〇〇	七、七三〇
文珠	同	六、九五九	八、〇一三
三井釧路	釧路	六、一三五	三、五五九
入山	福島	三七、三二九	二、七九八九
小野田	同	二一、八一六	一六、七四八
内郷	同	四五、四一四	三六、四〇一
王城	同	五、三一九	六、〇八〇
好間	同	五三、二六六	四三、〇一六
平本	同	一〇、六五六	一〇、四九六
湯本	同	三、三二八	九、〇六七
勿來	同	七、八八〇	四、八七七
福島	同	二一、七四四	二二、九二四
茨城無煙	茨城	一九、一三二	一四、八四三
重内	同	一四、八一八	一〇、五四三
山口無煙	同	六、八七〇	七、四七九
大日本	同	七、四六〇	一六、五一八
千代田	同	一六、六八六	一二、七三四
松浦	長崎	五、八五二	六、一四六
高島	同	二六、三五四	二五、九六〇
松島	同	三〇、五八二	三三、九六六
崎戸	同	二六、〇三二	二八、九六六
福島	同	四、〇二七	五、一二五
沖ノ山	山口	三四、五七九	二八、八六四
東見物	同	二九、四〇七	二七、七三九
第二沖山	同	一四、六四〇	一六、五五五
大辻	福岡	三六、六四七	三一、八七三

高江	新海軍	岩崎	御徳	新入	吉隈	綱分	高尾	大之浦	明治	三井本洞	鹽頭目尾	木屋瀬	金田	大峯	三井田川	峰地	豐岡	二瀬	忠隈	上山田	鮪田	豆田	三井山野	芳雄	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二〇、一三七	三〇、〇二九	二八、〇五八	一〇、三七七	八、二八八	四〇、五一八	一一、七一二	一三、〇一九	五、一五七	八八、九五八	四二、九六四	一一、三六八	四三、七二〇	一一、八八六	一八、八四一	三八、六五九	八二、〇六六	六〇、四八一	三八、二二六	六〇、五六九	二九、五四五	一五、二四五	四七、三二〇	一一、八〇六	三六、六八九	二二、三三五
一四、三七五	二一、三一三	二七、八五五	一一、五四三	一〇、一七七	二八、八一	一〇、八三五	一四、八五七	七、四二七	八四、三二四	四八、六九一	一五、四一九	五〇、七八二	一一、一五七	二〇、九七六	三〇、九九八	八一、〇九一	五〇、七三七	四二、七五五	五一、七〇一	二六、八五一	一六、五一五	四八、一三〇	一七、七九〇	三六、五二五	二七、七四二
下山田	三池	方城	大隈	高松	高田二坑	龜山	旭山	三笠	泉水	平山	新日尾	蛭濱	福岡二坑	飯塚	久原	神之浦	宮尾	大峰分坑	相田	杵島	相知	芳谷	岩屋	多久二坑	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	佐賀	同	同	同	同	同
一四、八七五	一七四、三四五	二五、二一八	一一、五〇三	四、〇一八	六、八四一	七、二一八	九、一三二	五、一四一	七、九三三	三四、〇四〇	一〇、三九五	二一、三〇八	八、二四一	一七、九七八	四四、三〇九	一一、七五八	一〇、五四一	一一、〇八六	一一、二二九	五、四六一	五三、一七八	三九、二九五	四二、九一八	二四、五六四	六、六四一
一二、八八九	一六四、八二五	二三、〇六五	一〇、一七三	四、六四九	四、〇八三	五、〇九六	八、七〇三	五、八〇七	八、二六四	一五、四六四	七、二二三	一四、八七〇	一〇、三一〇	九、六一〇	一一、一五一	一〇、八三	一四、〇六〇	七、八七二	一一、三三五	六、四三九	五六、五二一	四四、九八九	四〇、八四四	二四、〇二八	六、〇五六